

福島第一原子力発電所現地確認報告書

- 1 確認日
令和6年4月22日（月）
- 2 確認箇所
瓦礫類一時保管エリアA1、A2
- 3 確認項目
瓦礫類一時保管エリアA1、A2の状況

4 確認結果の概要

瓦礫類一時保管エリア（以下「一時保管エリア」という。）A1及びA2はテントハウスに高線量の瓦礫類（表面線量率30mSv/h以下）を保管していたが、一時保管エリアA1については、令和3年にテントハウスを解体して地表面を舗装し、低線量の瓦礫類（表面線量率0.01mSv/h程度）の保管エリアに転用されている。

一時保管エリアA2についても、低線量の瓦礫類（表面線量率0.005mSv/h程度）の保管に転用することが予定されており、前回確認時は、テントハウス内にある高線量の瓦礫類の撤去が実施されていた。

今回は、前回に引き続き、一時保管エリアA1における瓦礫類の保管状況及び一時保管エリアA2における転用に向けた工事状況を確認した。（図

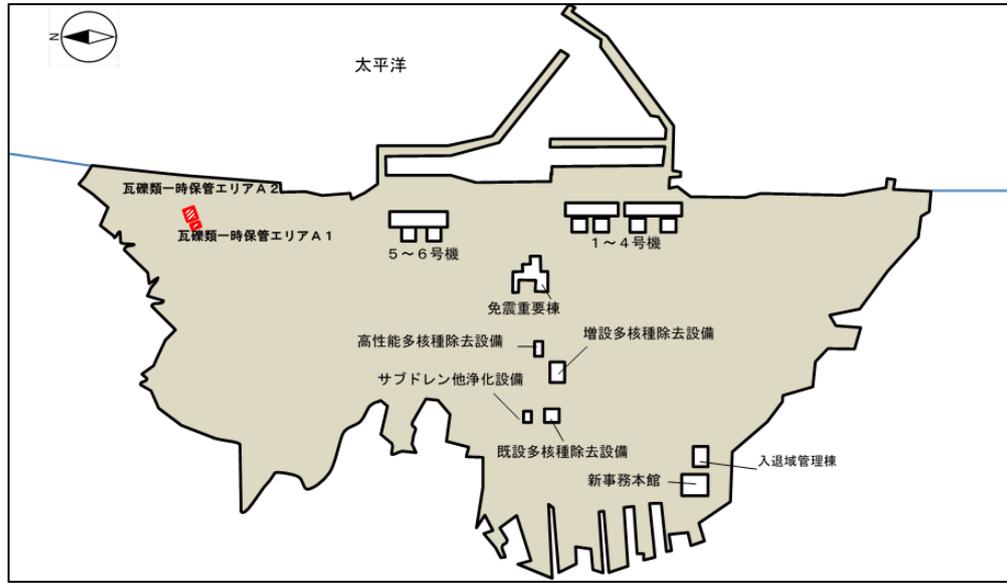
1）（前回確認：[令和5年6月6日](#)）

（1）一時保管エリアA1の状況

- ・一時保管エリアの周囲を囲む様にコンクリート擁壁が設置されており、その内側には1m³コンテナが4段積みで保管されていた。（写真1）
- ・確認した範囲では、コンテナに転倒や傾きは確認されなかった。また、内容物の飛散や流出も確認されなかった。（写真2）

（2）一時保管エリアA2の状況

- ・テントハウス内に保管されていた高線量の瓦礫類の撤去及びテントハウスの解体が完了していた。（写真3）
- ・一時保管エリアの周囲を囲むコンクリート擁壁の設置と、地表面の舗装工事が進められていた。（写真4）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
一時保管エリアA1の状況



(写真2)
一時保管エリアA1におけるコンテナ保管の状況



(写真3-1)
一時保管エリアA2の状況
テントハウス解体前
(撮影日：令和5年6月6日)



(写真3-2)
一時保管エリアA2の状況
テントハウス解体後
(撮影日：令和6年4月22日)



(写真4)
一時保管エリアA2の状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。